



平成30年度学校経営計画 大分大学教育学部附属特別支援学校



芙蓉の花

本校の使命

本校は国立大学法人法に基づいて大分大学教育学部に設置された学校であり、次の3つの使命を持つ。

1 知的に障がいのある児童生徒を対象に教育を行い、個々の能力を伸ばし、自立への意欲を育て社会生活への適応を高める。

2 大学教員や学生の教育研究に協力するとともに、教育実習生の指導にあたる。

3 特別支援教育について、理論的、実証的教育研究を推進するとともに、地域の障がいのある幼児児童生徒やその保護者及び幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校への支援の充実に努める。

学校教育目標

個人の尊厳を重んじ、児童生徒一人一人の心身の発達に応じて、小学部、中学部並びに高等部の各課程を通して、調和のある一貫した教育を行い、自己の持つ能力や可能性を最大限に伸ばし、身近生活の確立をはじめ、集団生活、社会生活、職業生活への適応性を高め、自立的、主体的な生活ができる人間の育成をめざす。

めざす子ども像



明るく
元気な
やさしい子

自分のことは
自分でする子

人と交わり
仲よくする子

力いっぱい
最後まで
がんばる子



本年度の重点目標

1 子どもの活動参加への意欲を高める授業づくりの充実

【達成指標】

- 保護者及び学校評議員への授業に関する評価アンケートで3以上の回答が100%
〈設問内容〉
『児童生徒は意欲的に学習活動に参加している』
- *アンケートは4段階評価
3...「よい(そう思う)」
4...「たいへんよい(大いにそう思う)」

2 地域や関係機関との連携と地域貢献

【達成指標】

- 附特セミナーへの参加者が25名以上
- 保護者への評価アンケートで3以上の回答が100%
〈設問内容〉
『学校・家庭・関係機関との連携がとれている』
- *アンケートは4段階評価
3...「よい(そう思う)」
4...「たいへんよい(大いにそう思う)」

本年度の重点的取組

授業構想シートを活用した授業づくりと授業改善の実施

大分県教育庁特別支援教育課と連携した授業研究の実施

新任者研究授業の実施と充実

本校のセンター的機能を発揮した、研修機会の充実

児童生徒を中心においた、学校・家庭・関係機関の連携強化

本年度の取組指標

授業構想チェックシートを活用した授業実践
〔一人一実践による、公開研究会に際しての一人一事例の作成〕

振り返りシートを活用した授業改善〔一人一実践〕

特別支援教育課指導主事による授業観察と授業反省会の実施(各学部3回以上)
公開研究会のアンケート調査で、「子どもの意欲的な活動を引き出すための工夫がなされていた」との回答80%以上

H30年度、新任者全員の授業研実施(本時案レベル)

教職員への研究関係のアンケートで、初任者研修が有意義であるとの回答100%

大学や関係機関から講師を招いた附特セミナーを3回以上開催

附特セミナーのアンケート調査で、「有意義であった」との回答80%以上

全児童生徒の、モニタリング会議への参加(1回以上)
※施設が提供するサービス等に関する会議

関係機関との、進路に関する情報交換会の実施(3回以上)

本校の研究

- 附属特別支援学校第8次研究の取り組み
- 附属四校園連携した研究の取り組み

研究テーマ「活動に意欲的に取り組むため授業づくり」5年目

研究テーマ「グローバル社会を生きる力を身につけた子どもの育成」4年目